



あきば

八王子市立秋葉台小学校 HP(<http://hachioji-school.ed.jp/akbde/>)

地域運営学校

令和8年8月27日
秋葉台小 学校だより
校長 内藤 彰
No.5 (529号)

8,9月 の目標

生活 きまりを守って生活しよう
保健 規則正しい生活をしよう
給食 朝ごはんの大切さを知ろう

「二学期の始まりに寄せて」

校長 内藤 彰

長く暑かった夏休みが明け、学校に子どもたちの元気な声と輝く笑顔が戻ってまいりました。楽しかった思い出とともに、一回り大きくたくましく成長した子どもたちの姿に、いよいよ始まる2学期への期待と頼もしさを感じております。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、夏季休業中も子どもたちを温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

さて、私たちが何かに向き合うとき、「まずは『やってみよう』と一歩踏み出すこと」には、何ものにも代えがたい価値があります。世の中に、成長につながらない挑戦などひとつもありません。

思い返してみると、私自身も昔から「やってみよう」の連続でした。子ども時代や若い頃、テレビCMに影響されては真似をしたものです。アリナミンAの「鍛えれば全身がばねになる」という言葉を聞いては「自分もばねになれるんだ!」と毎日ひたすら部屋で跳ねてみたり、「燃烧系燃烧系アミノ式」という歌に合わせて、CMに出てくるような凄い技に自分もできるかと本気で挑戦してみたり……今考えると「何をやってるんだか」と思わず苦笑いしてしまうようなことばかりです。

また、中学1年生のときにはナポレオンの伝記を読み、彼のように時間を有効に使うため「1日3時間睡眠」に挑戦したこともありました。当時8時間ほど寝ていた私は、1週間ごとに10分ずつ睡眠時間を削っていき、1年間かけて目標の「3時間睡眠」に到達しました。その時の達成感は今でも鮮明に憶えています。

しかし、小学校6年間は一度も休んだことがなかった私が、これを境に風邪を引いたり体調を崩したりすることが多くなりました。結果として、この挑戦を通して「睡眠の大切さ」を身をもって知ることになったのです。同時に「どうしても必要なときは、少しの間なら3時間睡眠でも乗り切れる」という自分の体調の限界を知ることもできました。

大人から見れば、CMの真似も睡眠の実験も「無駄なこと」「無茶なこと」に見えるかもしれませんが、しかし、当時の私にとっては真剣な「やってみよう」であり、大成功とは言えない結末も含めて、身体の仕組みや健康の大切さを深く学ぶ貴重な経験となりました。

子どもたちが今、興味を持って取り組んでいることや、一見すると無駄に見えるような挑戦であっても、将来に「無駄なこと」は絶対にありません。すぐには役に立たないように見える遠回りや失敗も、すべては次の工夫を生み、折れない心を育てます。そうした経験の「点」と「点」が、将来、思わぬ形で結びついて自分だけの大きな強みとなり、豊かな人生を支える原動力へと変わっていくのです。

学びが一段と深まる2学期。学校は、子どもたちが安心して「やってみたい」を試し、安心して試行錯誤できる場所でありたいと考えています。結果の成否だけを評価するのではなく、その好奇心やチャレンジ精神そのものを認め、励ます場であり続けたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、子どもたちが「やってみよう」と目を輝かせたときには、ぜひ温かく背中を押してあげてください。たとえ「何をやってるんだか」と思えるようなことでも、その挑戦を温かく見守っていただければ幸いです。

今学期も子どもたちが失敗を恐れずに新たな一歩を踏み出せるよう、教職員一丸となって寄り添ってまいります。変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

このたび、本校の特別支援教室「ひだまり教室」の巡回指導を担当しておりました島田妙佳教諭が、2学期より産前休業に入ります。体制が変わりますが、引き続き子どもたちが安心して学べるよう温かい支援を行ってまいります。今後とも、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「小中合同引き渡し訓練について」

生活指導主任 蛭田 ひろみ

地震や大雨による被害を耳にする度に、自然災害の恐ろしさを再確認させられます。特にこの夏発生した熊本地震や千葉県での豪雨災害のニュースを目にし、決して他人事ではなく「いつ自分の身の回りに起きてもおかしくないのだ」と、有事に向けた準備の大切さを痛感しております。

自然災害時や不審者対応等の状況によっては、保護者の皆様に児童を引き取りに来ていただくこととなります。学校では、実際に引き渡す状況を想定し、安全に引き渡しができるよう毎年訓練を行っております。今年度も、別所小学校・別所中学校と時間を合わせて合同で引き渡し訓練を行うこととなりました。詳細は、1学期末の保護者会にて配布したプリントの通りですが、再度ご確認ください、ご協力の程よろしく願いいたします。

当日の訓練の際には、実際の災害時を想定し、「川や道路はどうなるだろうか」「倒れてくるものはないだろうか」などと、お子さんと一緒に周囲の様子を確認しながら下校していただきたいと思ひます。また、訓練当日に引き取りが難しいご家庭におかれましても、事前に災害時の約束事を決めておくだけで、子どもたちの不安を和らげることにつながります。

このような場面が実際に起こらないことを願うばかりですが、万が一に備え、私たち大人が想像力をもって準備しておくことが何より大切だと感じております。何卒よろしく願いいたします。

「学期初めの登校について」

生活指導主任 蛭田 ひろみ

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。久しぶりの登校で、子どもたちの気分も高まり、思いがけない行動やけがにつながることもあります。お子様が安全に登校できるよう、ご家庭でも以下のご確認をお願いいたします。

○交通安全：通学路の危険な場所や、道路の歩き方、横断歩道の歩き方などを、改めてお子様とご確認ください。

○生活リズム：登校前に体調を確認し、「早寝早起き朝ごはん」の規則正しい生活へ切り替えましょう。

○持ち物の準備：登校時の忘れ物がないか、一緒にご確認ください。暑い日が続くことが予想されますので、水筒、汗拭き用に予備のハンカチも持たせてください。

子どもたちが元気に、そして安全に2学期のスタートを切れるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

「災害時情報伝達訓練の実施について」 副校長 遠田 毅

今年度も引き渡し訓練【令和8年(2026年)9月2日(水)】の実施に合わせまして、学校教育活動中の災害発生時に保護者が児童の安否等を確認する方法である学校ホームページの「災害時情報掲示板」及び「災害用伝言ダイヤル」を利用した情報伝達訓練を実施することとしました。保護者の皆様におかれましては、児童の安否情報の確認方法習得のため、訓練に御参加いただくよう願ひします。詳しくは別紙の「災害時情報伝達訓練の実施について(通知)」をご確認ください。どうぞよろしくお願いいたします。

「読書週間について」

図書担当 佐原 真琴

令和8年9月7日(月)から9月18日(金)に読書週間を設定しております。配布した読書カードにビンゴを目指して記録してください。また読書カードに感想画、感想文を書き、9月24日(木)に提出をお願いします。

この機会にご家庭でも読書を楽しんでいただけたらと思ひます。ご協力をお願いします。

○教育実習について

8月31日(月)より、創価大学の中嶋大輝さんが本校で教育実習を行います。実習期間は8月31日(月)から9月30日(水)までの4週間で、主に4年1組を中心に学びを深めます。

未来の教員を目指す実習生を、学校全体で温かく育てまいりたいと思ひます。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。